

# 本能寺

## - 町名の変遷 -

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



図1 『中昔京師地図』森幸安 画面左が北  
『森幸安の描いた地図』国際日本文化研究センターより転載・調整 国立公文書館所蔵

前号No.211の「本能寺の変遷」では、『中昔京師地図』で森幸安が、なぜ発掘調査地を含む南北二町を「本能寺」の故地としたのかという疑問点を指摘しました。

幸安がこの地図を作成したのは本能寺の変の後、約170年を経た宝暦三年(1753)ですが、その頃までには本能寺のあった正確な位置はわからなくなっていたのでしょうか。

本能寺の変以降のこの周辺の町並みを記した最も古い記録は『寛

永十四年洛中絵図』です。もちろん本能寺はすでに現在の場所に移っており、ここには描かれていませんが、その後作成された絵図や地誌などで、この辺りの町名をたどれば興味深いことに気づかれます。

現在この周辺には本能寺との関連をうかがわせるような「本能寺」を含む町名が点在しています。調査地の一部を含む蛸薬師通の油小路から西洞院までの元本能寺南町、小川通の蛸薬師から六角までの元

本能寺町、六角通の油小路から西洞院の本能寺町です。

これらの町の基本的な町組にはほとんど変化はありませんが、各町名は時代とともに変遷していません。ここで調査地西側の山田町をあわせて町名の変遷過程の概略をたどると以下ようになります。(図2・表1)

元本能寺南町 『寛永十四年洛中絵図』に本能寺南町とあり、蛸薬師通を挟む両側町です。『寛永十八年以前平安城町並図』には七

間さいけ（在家）町、『京町鑑』<sup>かがみ</sup>宝暦十二年刊には元本能寺在家町と記されています。

本能寺町 『寛永十四年洛中絵図』に六角本能寺町とあり、六角通を挟む両側町です。中央に小川通が位置します。『寛永十八年以前平安城町並図』にはひちり（聖）町、『天保二年改正京町絵図細見大成』に本能寺町とあります。

元本能寺町 『寛永十四年洛中絵図』に本能寺突抜町とあり、小川通六角下がるより蛸薬師までの両側町です。『寛永十八年以前平安城町並図』に本能寺町、『京町鑑』では元本能寺町となっています。

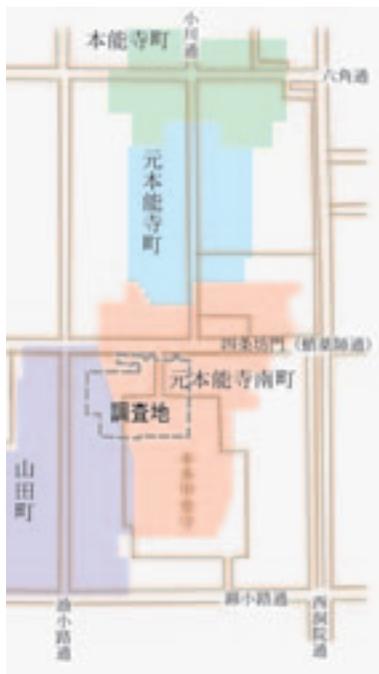


図2 周辺の町名  
『寛永十四年洛中絵図』をもとに、現在の町名を記入した。

山田町 『寛永十四年洛中絵図』に山田町とありその後変化はありません。『京都坊目誌』には「天正年中、山田左衛門の第此町にあり、故に名とす」と記されています。

さて、「本能寺」を含む三つの町名のうち、現在の本能寺町の寛永十四年時点での町名は六角本能寺町であり、その後に聖町を経て本能寺町となったことがわかります。六角本能寺町という町名は、本能寺の北側を通る六角通の両側に成立した町の名称として順当なものでしょう。現在の元本能寺町は本能寺突抜町から、六角本能寺町が聖町に変わった段階では本能寺町になり、その後、宝暦十二年刊の『京町鑑』では元本能寺町と記されています。さらに現在の元本能寺南町は、寛永十四年の本能寺南町から七間在家町、本能寺在家町を経て元本能寺南町となっています。

こうした町名の変遷経過をみると、寛永十四年段階では本能寺だけを町名に用いた町は存在せず、六角・南・突抜などの語と組み合わせた町名が採用され、その後の経過の中で本能寺町という町名が時期を違えて2箇所で使用されていることがわかります。

ここで留意しなければならない

のは「突抜」という語です。足利健亮氏の研究によると、「突抜」は辻子（平安京の条坊が変化していくなかであらたに成立してくる町を区切る道路）の成立に際して、辻子の貫通を阻む施設や事情があって、当初途切れていた箇所が、その後に障害がなくなった時点で延長され、開通した場合、その部分に付けられる道路の名称であるといえます。

であるとすれば、小川通の六角から四条坊門間を占める本能寺突抜町の場所に存在していたその障害といえば本能寺に相違なく、それは前号で述べた本能寺の位置とも符合します。

このような個々の町名変更の理由や契機は明らかではありませんが、本能寺跡地周辺に於ける寛永以降の町名の変遷は、本能寺の変という歴史上の大事件の舞台である本能寺という語を町名に取り入れたいと願う町衆の意識の所産なのでしょう。

そして、そうした背景をもとに幸安が『中昔京師地図』を作成した時点では、すでに本能寺旧地の枠を超えて本能寺を冠した町が複数成立しており、その町名の影響から幸安の南北二町の復元案が生まれたのかもしれない。（平尾 政幸）

史料名（西暦年）	町名			
『寛永十四年洛中絵図』（1637）	本能寺南町	六角本能寺町	本能寺突抜町	山田町
『寛永十八年以前平安城町並図』（1641）	七間さいけ町	ひちり町	本能寺町	山田町
『京町鑑』宝暦十二年（1762）	元本能寺在家町	ひちり町	元本能寺町	山田町
『天保二年改正京町絵図細見大成』（1831）	元本能寺在家町	本能寺町	元本能寺町	山田町
現在の町名	元本能寺南町	本能寺町	元本能寺町	山田町

表1 町名の変遷